

ふくいポーク種豚生産試験事業

実施主体：畜産試験場
担 当：家畜研究部中小家畜研究G

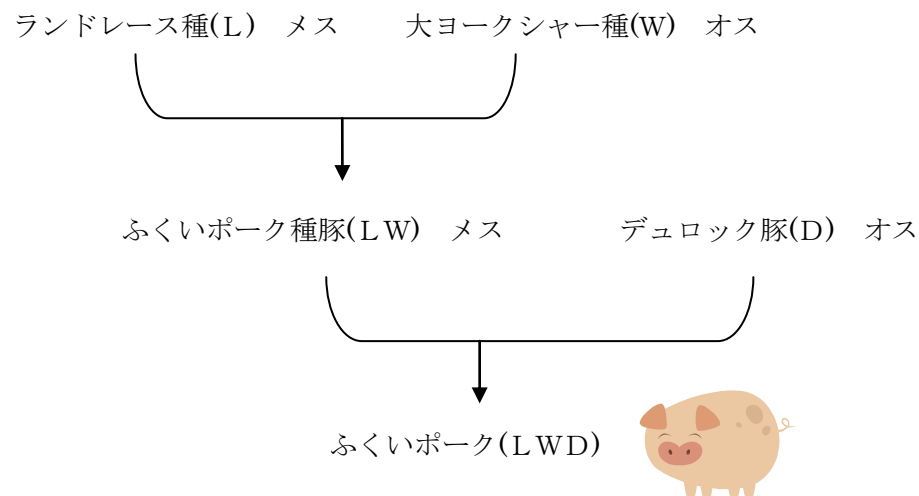
1. 研究の目的・必要性

国際化の進展、産地間競争の激化など厳しい状況の中で、よりよいふくいポークの生産を推進するため、改良で選抜された豚が生産した高能力の種豚を養豚農家へ供給するとともに、生産性向上技術の確立を図り、養豚農家の経営安定に資する。

2. 研究項目、内容

ふくいポークは右図のように、3種類の豚を掛けあわせて県内農家で生産されている。畜産試験場では、ふくいポークの父親{デュロック豚(D)}と母親{ふくいポーク種豚(LW)}になる2種類の豚を生産して選抜された種豚を県内農家に供給するとともに、種豚の改良と生産性向上のための飼養管理技術の開発を行う。

ふくいポーク交配図



(1) 飼養種豚

品 種	種雌豚	種雄豚	合 計
ランドレース種(L)	13 頭	0 頭	13 頭
大ヨークシャー種(W)	0 頭	3 頭	3 頭
デュロック種(D)	2 頭	1 頭	3 頭
合 計	15 頭	4 頭	19 頭

(2) 高能力の交雑種登記雌豚(LW)およびデュロック種雄豚(D)の譲渡

年間譲渡頭数 84 頭
譲渡日齢 生後 4 か月
譲渡体重 50kg

3. 期待される成果等 (成果目標)

子豚育成方法等の改善技術を確立することにより、ふくいポークの生産拡大を図る。
生産性向上技術を確立し、養豚農家の経営安定に資する。

4. 予算額 5, 2 5 7 千円 (財源：財産収入 1, 4 7 4 千円、一般 3, 7 8 3 千円)